第２回ＭＤＩＣ検定試験問題
医療概論・関連法規

日本医療機器学会
2010 年 1 月 10 日
10 時 30 分～11 時 20 分

受験番号							氏　名	
生年月日（西暦下 2 桁の 6 桁表記）								

注意事項

１．**問題用紙は指示があるまで開かないでください。**

２．問題用紙および解答用紙の所定の箇所に受験番号と氏名と生年月日（西暦下 2 桁と月日を 6 桁で記入する。例えば，1982 年 4 月 13 日の場合，820413 と記載）を記載します。解答用紙の受験番号と生年月日は横書きで記入し，下の同じ番号をマークしてください。

３．問題用紙はすべて回収しますので，持ち帰ることはできません。問題用紙の回収がない場合，不合格となります。

４．問題用紙に落丁または不鮮明な箇所がある場合は，手をあげて監督者に合図してください。試験問題の内容についての質問は一切受け付けません。

５．設問は 40 題で，単純 5 肢択一のマークシート方式です。

６．各問題では，設問に対して適切な解答を解答群の中から選択し，問題文中に書かれた解答記入欄の番号に従って解答用紙の解答記入欄を選び，選択した項目の番号をマークしてください。

７．途中退室は認めません。

８．試験中，体調が悪くなった場合やトイレに行きたくなった場合は，手をあげて監督者の指示に従ってください。試験時間内であれば試験場に戻ることができますが試験時間の延長はありません。

９．不正行為と確認された場合には，退室を命じます。不正行為をした場合には，全受験科目が不合格となります。

【問題１】　国家資格で**ない**医療職はどれか。

１）視能訓練士

２）義肢装具士

３）救命救急士

４）言語聴覚士

５）診療録管理士

【問題２】　国民の健康を取り巻く環境の変化で正しいのはどれか。

１）高齢者の減少

２）医療の安全に対する意識の低下

３）医療に対する不信感の増加

４）医療費の減少

５）病気関連情報の減少

【問題３】　遺伝子解析に関する倫理指針で正しいのはどれか。

１）個人の同意は不要である。

２）必要に応じて個人情報を開示する。

３）社会的利益を優先する。

４）独立の立場から研究の適正性を確保する。

５）研究内容にはあらかじめ国民の承認が必要である。

【問題４】　「ヒポクラテスの誓い」で正しいのはどれか。

１）頼まれれば死に導く薬を与えてもよい。

２）他人の生活の秘密を守る。

３）奴隷は治療の対象外である。

４）患者の家を訪ねてはいけない。

５）治療では女性より男性を優先する。

【問題５】　医療職の一員としてのあるべき姿で正しいのはどれか。

１）それぞれが独自の方針を持つ。

２）他職種の業務内容を理解する必要はない。

３）プロとしての知識の研鑽に努める。

４）他職種からの意見は参考にしない。

５）患者の個人情報は職員全体で閲覧できる。

【問題６】　「健康日本 21」の中間評価で改善したのはどれか。

１）20～60 歳男性の肥満

２）20 歳代女性のやせすぎ

３）2 日当たりの野菜摂取量

４）30 歳代男性で朝食を抜く人の数

５）男性の日常生活の歩数

【問題７】　わが国特有の医療費増加の**要因でない**のはどれか。

１）病床数が多い。

２）検査が多い。

３）受診回数が多い。

４）介護保険が導入された。

５）急激に高齢化率が上昇した。

【問題８】　著しい増加を示しているのはどれか。

１）一般病床

２）精神病床

３）結核病床

４）療養病床

５）無床診療所

【問題９】　医療機関の費用構造として最も高いのはどれか。

１）医薬品購入費

２）医療材料費

３）人件費

４）委託費

５）光熱費

【問題 10】　高齢者医療で正しいのはどれか。

１）75 歳以上の後期高齢者の医療費負担は免除されている。

２）老人保健法は昭和 36 年に施行された。

３）高齢者の健康診断は無料である。

４）高齢者の医療費は介護保険から賄われる。

５）65 歳以上の医療費は国民医療費の 50%以上である。

【問題 11】　医療保険の支払制度で正しいのはどれか。

１）診療報酬は診療ごとに請求する。

２）レセプトは領収書である。

３）保険者は医療費の 3 割を負担する。

４）医療機関からの請求金額は全額支払われる。

５）支払基金は医療機関よりの請求内容を査定する。

【問題 12】　医療保険から**給付されない**のはどれか。

１）老人保健施設療養費

２）入院基本料

３）傷病手当金

４）在宅医療

５）給食費（標準食事代）

【問題 13】　社会保険（掛け金が必要なもの）はどれか。

１）障害者福祉制度

２）老人福祉制度

３）児童福祉制度

４）母子家庭支援制度

５）労働者災害補償制度

【問題 14】　公衆衛生に**属さない**のはどれか。

１）食品衛生

２）感染症

３）麻薬対策

４）生活保護

５）上下水道

【問題 15】　医療保険で正しいのはどれか。

１）国民皆保険制度は第二次世界大戦終了直後開始された。

２）保険者とは定期的に掛け金を払う者を指す。

３）高額医療に対する支払いの減免措置がある。

４）受診時の支払い負担割合は所得により異なる。

５）掛け金は保険種別によらず一律同額である。

【問題 16】　現行の年金制度で正しいのはどれか。

１）国民皆年金制度は国民皆保険制度に遅れて施行された。

２）支給額は年齢に応じて一律同額である。

３）加入率は年々増加している。

４）受給者数は年々増加している。

５）受給開始年齢は 70 歳である。

【問題 17】　医療保険が適用できるのはどれか。

１）健康診断

２）研究目的での診療

３）異常分娩

４）予防接種

５）往診の交通費

【問題 18】　医療法上の医療機器安全対策で正しいのはどれか。

１）病院長が医療機器安全管理責任者を兼務する。

２）医療機器の添付文書の管理は必要でない。

３）医療従事者に安全使用に関する研修を実施する。

４）医療機器の保守点検の外部委託は禁止されている。

５）特定保守管理医療機器は管理対象外である。

【問題 19】　特定化学物質を取扱う作業現場の管理で**誤り**はどれか。

１）作業室を密閉構造にする。

２）作業室の環境濃度を測定する。

３）保護具の設置及び管理をする。

４）従業者の定期健康診断を行う。

５）作業主任者を選任する。

【問題 20】　医療機器を扱う業で医療法の規制をうけるのはどれか。

１）販売業

２）製造販売業

３）修理業

４）保守点検業

５）製造業

【問題 21】　製造物責任法（PL 法）の対象となるのはどれか。

１）サービス

２）医療行為

３）修　理

４）中古品

５）保守点検

【問題 22】　医療機器の貸出しに関する事例で**認められない**のはどれか。

1）緊急時の対応

2）災害時の対応

3）修理時等の代替対応

4）公益的研究活動の対応

5）予算化までの対応

【問題 23】　病院機能と組織との組合せで**不適切**なのはどれか。

1）集中治療　――― 外来診療部門

2）緩和ケア　――― 入院診療部門

3）核医学検査　――― 中央診療部門

4）患者中心のケア　――― 看護部門

5）情報処理・管理　――― 事務部門

【問題 24】　疾患と診療科との組合せで**不適切**なのはどれか。

1）急性肝炎　――― 消化器内科

2）心筋梗塞　――― 心臓外科

3）統合失調症　――― 脳神経外科

4）喘　息　――― 呼吸器内科

5）大腿骨骨折　――― 整形外科

【問題 25】　疾患と治療法との組合せで**不適切**なのはどれか。

1）腎不全　――― 血液透析療法

2）不整脈　――― ペースメーカ植込み

3）呼吸不全　――― 人工呼吸療法

4）心臓弁膜症　――― 弁置換術

5）食中毒　――― 高気圧酸素療法

【問題 26】　部門と業務との組合せで適切なのはどれか。

1）手術部　――― タイムアウト

2）輸血部　――― 生体情報モニタ

3）放射線部　――― 血液管理

4）リハビリテーション部　――― 生命維持管理装置の点検

5）臨床工学部　――― 造血幹細胞移植

【問題 27】　病院機能評価の基本項目として**誤り**はどれか。

1）地域における役割

2）職員の権利

3）患者サービス

4）診療の質の確保

5）看護の適切な提供

【問題 28】　トリアージで正しいのはどれか。

１）初診患者の受診する診療科を決定する。

２）十分に時間をかけて行う。

３）救急患者には行わない。

４）小児科では行わない。

５）インフルエンザ感染対策では行わない。

【問題 29】　治療の緊急度のバロメータ（指標）と**ならない**のはどれか。

１）発症時間

２）症状の経過

３）性　別

４）創の汚染程度

５）医療機関の設備

【問題 30】　退院時の書類で**ない**のはどれか。

１）退院証明

２）診断書

３）訪問看護指示書

４）退院支援スクリーニングシート

５）服薬指導書

【問題 31】　理学的診断法で**ない**のはどれか。

1）視　診

2）検　診

3）聴　診

4）触　診

5）打　診

【問題 32】　問診の内容で**不適切**なのはどれか。

1）思想・信条

2）既往歴

3）生活環境

4）嗜　好

5）アレルギーの有無

【問題 33】　クリニカルパスの基本要素で**ない**のはどれか。

1）時間軸

2）ケア介入

3）標準化

4）変化要因（バリアンス）

5）保険種別

【問題 34】　診療録で**誤り**はどれか。

１）医学的意味をもつ。

２）法律的意味をもつ。

３）診療内容を検証できる。

４）10 年間保存の義務がある。

５）医師が記載する。

【問題 35】　医療法で一般病院に保存が義務づけられて**いない**のはどれか。

１）病院日誌

２）各科診療日誌

３）処方せん

４）検査所見記録

５）救急医療の実績

【問題 36】　診療録における患者基本情報で**ない**のはどれか。

１）患者氏名

２）生年月日

３）住　所

４）保険種別

５）出生地

【問題 37】　診療録記載で**誤り**はどれか。

１）外来と入院は基本情報を共有する。

２）診療行為は遅滞なく記載する。

３）記載にはボールペンを使用する。

４）内容を訂正する場合は消去する。

５）用語は学会の規定にしたがう。

【問題 38】　正しいのはどれか。

１）セカンドオピニオンの要請を断わることができる。

２）処方せんは医療記録でない。

３）診療録開示請求には応じなければならない。

４）標準病名マスタには JAN コードが使われる。

５）特定機能病院には高度医療の提供実績は不要である。

【問題 39】　EBM（Evidence-Based Medicine）で正しいのはどれか。

１）専門家の意見はメタ分析より質が高い。

２）臨床経験は重要である。

３）診療はガイドラインに拘束される。

４）統計的な数字は必要ない。

５）医療費削減が目的である。

【問題 40】　医療法改正で医療安全の体制確保について新たに義務化されたのはどれか。

1）安全管理の指針の策定

2）安全管理のための職員研修の実施

3）事故等の院内報告制度の整備

4）安全管理委員会の設置

5）医療機器安全管理責任者の設置